※令和４年度以降入学生用

学校番号	208

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　新編　数学Ⅰ（数研出版）						
副教材等	新課程　教科書傍用　基本と演習テーマ数学Ⅰ+A（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方法を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・問題集基本と演習テーマ用のノートを用意してください。問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書き、どのようにして答えを導くのかを理解しましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり， 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について， データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数と式，図形と軽量，２次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や軽量について論理的に考察し表現することができる。 ・関数について，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフ相互に関連付けて考察することができる。 ・社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。	・数学のよさを認識し数学を活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章 数と式	1節　式の計算 2節　実数 3節　1次不等式	a ：2次の乗法公式，因数分解の公式について理解を深めている。数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすることができる。不等式の解の意味や不等式の性質について理解し，1次不等式の解を求めることができる。 b：問題を解決する際に，すでに学習した計算の方法と関連づけて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，1次不等式を問題解決に活用することができる。 c：数と式で学んだことのよさを認識し活用したり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。数と式で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	授業態度 レポート振り返り用紙 パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

	２章　集合と命題		a：集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 b：集合の考えを用いて論理的に考察し,簡単な命題を証明することができる。 c：集合と論証で学んだことのよさを認識し活用したり,粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。集合と論証で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	授業態度 レポート振り返り用紙 パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

２学期	３章　２次関数	１節　２次関数とグラフ ２節　２次方程式の値の変化 ３節　２次方程式と２次不等式	a：２次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。２次関数の最大値や最小値を求めることができる。２次方程式の解と２次関数のグラフとの関係について理解している。また、２次不等式の解と２次関数のグラフとの関係について理解し，２次関数のグラフを用いて２次不等式の解を求めることができる。 b：２次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。２つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 c：２次関数で学んだことのよさを認識し活用したり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。２次関数で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	授業態度 レポート振り返り用紙 パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

	4章　図形と計量	1節　三角比 2節　三角形への応用	a:鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し，三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。三角比を鈍角まで拡張する意義と，鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 b:図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに，定理や公式として導くことができる。図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 c:図形と計量で学んだことのよさを認識し活用したり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	授業態度 レポート振り返り用紙 パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

３学期	５章　データの分析		a:分散，標準偏差，散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。コンピュータなどの情報機器を用いるなどして，データを表やグラフに整理したり，分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。具体的な事象において仮設検定の考え方を理解している。 b:データを散らばり具合や傾向を数値化する方法について考察することができる。目的に応じて複数の種類のデータを収集し，適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。不確実な事象の起こりやすさに着目し，主張の妥当性について，実験などを通して判断したり，批判的に考察したりすることができる。 c:データの分析で学んだことのよさを認識し活用したり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。データの分析で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	授業態度 レポート振り返り用紙 パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度